■私たちがこれから目指す姿

今後は、定期的な学習会や情報共有、相互の連携協力などRinのネットワーク活動を継続しながら、さらに仲間を増やし、県内全域にその人材の緩やかなネットワークを構築し、啓発活動を促進。そのことを通して、男女共同参画の視点による防災が当たり前の備えとなり、レジリエンス力の高い地域づくりにつないでいく。

Rinネットワークによる実践活動の広がり



益城町　にじいろ「みんなでツナグ」


山鹿市　防災ワークショップ


荒尾市　地域サロン



長洲町　防災ワークショップ


南阿蘇KIOKUイベントでの
防災ワークショップ


宇土市　子ども会
防災パッククッキング



八代市　防災訓練


熊本市　帯山地区Sinbundo


熊本市　画図校区避難訓練

女性防災リーダー Rinの
ネットワークが確立し、
広く周知されている

男女共同参画の視点を取
り入れた防災・減災活動
の事例が増えている

県内の自治体における
防災会議の
女性委員割合増をめざす
（女性委員０の自治体をなくす）

災害に強い地域づくり・誰一人取り残さない熊本を目指す

**男女共同参画の視点の防災を入り口に、
さまざまな分野で活躍する女性リーダーが増える**

くまもと女性防災リーダー育成プロジェクトRin講座レポート

第1回講座

■日時／令和5年4月8日（土）10:00～15:30
■会場／益城町交流情報センターミナテラス視聴覚室（益城町木山236）
■参加／ 26名（うちアーカイブ視聴2名）

※日時・会場・参加者数は1期の情報です

1部　オリエンテーション・講演

「参加目的を教え合い、お互いを知るワーク」

ファシリテーター：平田隆之氏、小柳明子氏（NPO法人市民プロデュース）

【講座内容】

長期間にわたる講座や今後のネットワークづくりを見据え、初回は初対面の受講生がお互いを知ることを目的にしたグループワークを取り入れ、対話をしながら本講座の目的や自身の目標などについて明らかにしていくという講座とした。グラフィックファシリテーションという手法を取り入れたことで全体の雰囲気も和らぎ、本講座の方向性もより分かりやすく伝わったようである。




2部　基礎講座

「ジェンダー視点から見た災害時の課題と対応の方向性」

講師：浅野幸子氏（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表）

【講座内容】

男女共同参画の視点の防災について具体的に理解するための基礎講座とし、「なぜ防災・復興には男女共同参画（ジェンダー）の視点が不可欠なのか」という点についてさまざまな例を挙げながら説明いただいたことで受講生の理解がかなり深まったことがアンケートから伺えた。自分たちの熊本地震での体験を今後に生かしていこうという全体の意欲も高まった講座であった。




【参加者アンケートより】　＊1期・2期より抜粋

お互いの目的や自分の参加目的を教え合うことで、より学びたいという気持ちになりました。

ジェンダー視点の意味を勘違いしていた部分があり、今回の講座で女性の活躍がどれだけ必要であるか理解できました。

避難所運営での役割分担について自分は女性が炊き出し、掃除が普通という感覚を持っていたことに気付きました。

女性も多様。自分の強みを生かし多様なネットワーク作りに力を入れていこうと思いました。